

事業所名

児童発達支援 root

支援プログラム (参考様式)

作成日

2026 年

3 月

9 日

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 法人(事業所)理念 | いろいろなことに挑戦し、「楽しいかも」や「これからもやってみたい」など、児童が経験を通して気づくことを第一に考え様々な活動を提供していきます。 | | |
| 支援方針 | たくさんの方に活動に参加し、多くの事を経験してみる。自分からやってみてみたいを見つけ行動に移す。集団での活動を通して他者との関りの大事さを知る。悩んでいることを周りに相談できるような環境を作る。児童に寄り添った心のケアを行う。 | | |
| 営業時間 | 平日12時 祝日10時 | 0分から | 平日17時 祝日16時 |
| | | 00分まで | |
| | 送迎実施の有無 | あり | |
| 支 援 内 容 | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ○健康の増進、基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ○障がいの特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすいよう構造化します。 | |
| | 運動・感覚 | ○日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を目指します。 ○感覚統合遊びを通して、楽しみながら身体の発達を促します。(粗大運動・微細運動) ○感覚や認知の特性を考慮し、環境調整等の提案及び支援を行います。 | |
| | 認知・行動 | ○感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、適切な行動への対応支援を行います。 ○活動を通して、数や形、大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。 ○集団での活動を通して、他者との関りの大事さを感じることができるよう対応支援を行います | |
| | 言語 コミュニケーション | ○具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得や自発的な発声を促す支援を行います。 ○一人一人の発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、安心して意思の伝達ができるように支援します。(指差し・身振り手振り・サイン等) | |
| | 人間関係 社会性 | ○集団活動の中で、役割分担をしたり、ルールを守ることの大切さを知らせ、社会性や安定した人間関係の形成を支援します。 | |
| 家族支援 | ○家族が身近な地域の中で安心して過ごせるよう、レスパイト支援や助言等を行います。 | 移行支援 | ○卒業後やその他、移行先にスムーズに移行ができるよう、各関係機関との連携を図り、調整を行います。 |
| 地域支援・地域連携 | ○各関係機関と連携を強化し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行い、身近な地域の中で安心して過ごせるように支援します。 | 職員の質の向上 | ○研修に参加し、職員のスキルアップに努めます。 |
| 主な行事等 | ○夏・冬の家族会 ○正月遊び ○バレンタイン ○遠足 ○社会科見学・体験 ○調理実習 ○水遊び ○お泊り会 ○離島探検 ○BBQ ○人参取穫 ○ハロウィンパーティー ○クリスマス会 | | |